

れんさい／問わず語り（最終回）

上方の二都

司馬遼太郎
え・中・西・勝



たいていの新聞社がそららしいが、神戸支局を経由した者は社会部畠をゆき、京都支局をへた者は、学芸部文化部におちつく。

そんな傾向があるそうだ。

私などが新聞社にいたころもそうで、私は京都支局に六年も居すわされた。そのあとは、おさだまりの文化部であった。

閥というほどでもないが、どの新聞社にも京都派、神戸派という

のが、強いていえば存在するらしい。

京都派は、個人色がつよく、たがいに批判をしそぎ、仲がよろしくない、というのが傾向のようである。そのかわり、なにか、京都の町から自分なりに吸収したものを身につけて出てくる。

私なども、もし、青春のころ、数年の京都支局時代がなかつたとしたならば、いま書いている小説も、ずいぶんちがつたものになつていたろう。

だから、その時期をもつたことに感謝しているし、京都の町に

(好みとしてはすきではなく、住む気にはとてもなれないが) 感謝している。

神戸派の記者は、これとちがってひどく仲間どうしが仲良し小良しだる。

——神戸支局にいた。

というだけで、一種同窓会的なふんいきでたすけあったり、相談にのりあつたりして、つながっている。

どの新聞社もそうちらしい。

これは、京都の町、神戸の町が、それぞれの記者に影響をあたえてこうなるのだろう。

神戸派は、がいして陽気である。新聞社でも、社会部にむいている。私の十四年間の新聞記者生活での見聞では、神戸派は一人のこらす腰のかるい労働者で、京都派は、一人のこらす腰の重い小理屈屋であった。それぞれの生れ故郷がちがうくせに、この二つの町は、これほどの感化をあたえる。あたえるだけのふしきな力が、町にあるのである。

俗な意味の出世という点からいえば(新聞社での)神戸派が断然出世するが、京都派は、学芸部記者で個性的な存在におちつく程度である。どちらが記者として人生として意味があるかは、これはここでは問わない。とにかく神戸派が活気のあることはたしかであるそして、たがいにチーム・ワークがとれている。「神戸」という町はふしきだな」

とそういうことから感じはじめたのは、新聞社での駆けだしのころからであった。

(どうしてそんなことになるのだろう)
と、考えた。

考えたが、その神戸を研究(?)する機会がなかった。

ところが、「神戸っ子」という雑誌ができる、編集をしている小泉康夫さんと五十嵐恭子さんがやってきて、

「神戸を見せてあげましょう」

という。



それにつられて、ざつと一、二年、ひまさえあれば神戸に出かけた。一つの町を、「見物」という態度で、これほど根気よく見たのははじめてであった。おそらくこれからもなさそうな経験だろう。おかげで神戸の秘密がわかつた、とまではいえないが、すくなくとも、日本に生存する各都市の「都市民族」の中では、「神戸民族」というのは、非常に優秀（むろんお世辞であるが、実感はこもつて）であると思うようになった。

京都人も神戸人も、他の都市人と同じのは、自分のすんでいる町が日本で一番いいと思っている点である。東京や大阪は、稼ぎ泥棒の集まりのような一面があり、名古屋や福岡は、中央に対する劣等意識がつよい。が、京都人と神戸人はちがう。この町が一番いいと思っているし町を住みよくきれいにしようという、西洋流の都市感覚がもつとも発達している。

京都人は千年の都市文明をもっているから市民は、自分の町だと思っている。京都を歩いても、家の軒下にゴミバコなどは出していない。そういう不浄のものは町をきたなくするというので、屋内に収めている。これはたれから強制されたものでもなく、「都市は市民の共有財産だ」という感覚が、千年の伝統でちゃんともっているからである。

神戸は、日本の六大都市の中では、もっともあたらしい都会である。幕末に、英仏蘭伊などの公使が幕府に「兵庫開港」をせまり、すつもんだのあげく実現した。いわば、西洋人がつくった町である。

京都の大将である孝明天皇などは最後まで兵庫開港に反対しておられた。公卿どもも大反対であった。公卿どもを擁している薩長両派をはじめ尊攘浪士も極端に反対していた。

反対の理由は、当時の複雑な幕末史が背景になつてゐるからここで語で説明することはできないが、とにかく「神戸誕生」には京都派は大反対であったというのはおもしろい。

当時の英國公使のパークスは、仕事はできるがならず者のような

べらんめえ的性格があり、しかも短気者だったから、

「それほど兵庫開港に反対するなら、艦隊をもつてくるぞ」と、幕府をおどかしたくらいであった。幕府は、各国公使と京都派の板ばさみになつてずいぶん苦労した。

そんなききつをへて開港し、わが神戸市は誕生した。

だから神戸は、当時の日本の二つの政府（将軍政府と天皇政府）が外人に力で犯されていやいやながら生んだ子で、とくに天皇方にとつては、生んだ、というよりも、他人の子をおしつけられたにひどしい。だから、神戸は、いわば外国人が生んだ町なのである。そういう伝統は、歴々として神戸という町の特異な性格をつくった。前号で、陳舜臣氏がいつていてるように、誕生のときからコスモポリタンの町なのである。こういう都市の成立は、日本ではほかに函館があるが、都市としての規模はくらべものにならない。

この町の「見学」で、私はいろいろなことを知った。

大阪人は安物買ひが好きだが、神戸人は上質のものがすきである。大阪人はドクドクしいデザインのものがすきだが、神戸人は、しゃれた見あきない美しさのものがすきである。

大阪人は、値のやすい二流品でがまんするが（市立の学校を作つても）、神戸人は、それが一流でないがまんできない。

そういうちがいがある。

そういう感覚が神戸の町を作つてゐる。「神戸は摂津国の山ノ手で、大阪は摂津国の下町だ」と私は感じたが、神戸人は大阪的都市性格に対する強烈なアンチ・テーゼとしてこれからも伸びてゆく必要があるのではないか。

京都、神戸、大阪が、それぞれの個性を大いにのばしてゆくところに、これからの方の繁栄は築かれるだろう。

なんだん臆劫になつてきましたので（というより種切れになつてきましたので）この辺で、退場いたします。

乾杯。

神戸の繁栄のために。

（作家）

花の季節に
花の帽子を



婦人帽子

マキシン

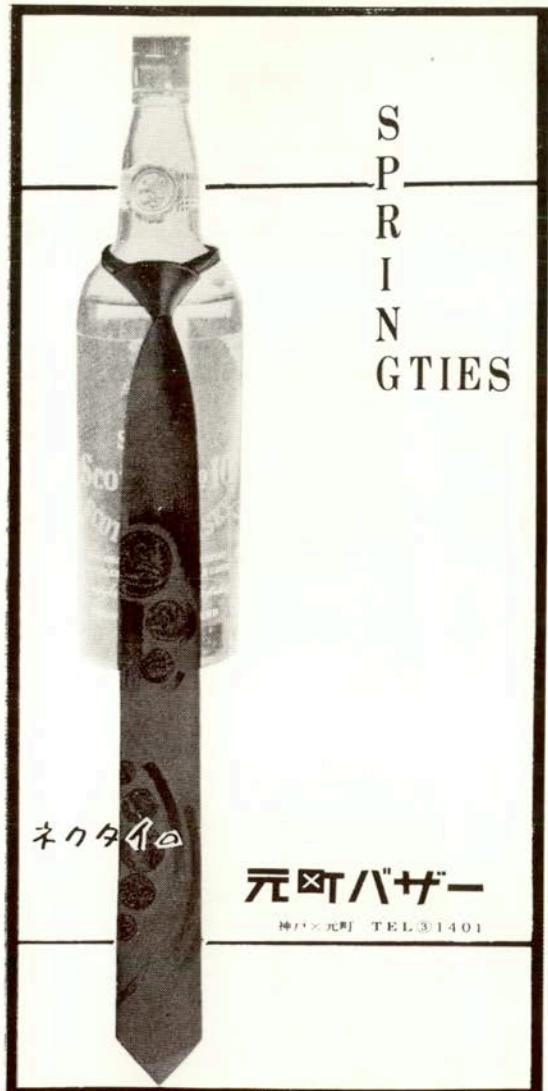
神戸・トアロード 東京銀座3-2
TEL(3) 6711-3 TEL(535) 5041

Esther Newton



美しさを創る…
エスター・ニュートン

トア・ロード(3) 1818



S
P
R
I
N
G TIES

* For Ladies' Shop

美しいお洒落に
シラサのバッグ



特選
ハンドバッグ
専門の店

シラサ

元町2丁目・③0813

すてきなお嬢さん こんなにちわ！

きく人・岡部伊都子（随筆家）

話す人・竹田峯子（美容師）

竹田峯子さんは、生れてから、あまり神戸を離れたことがないといはれるほどの『神戸っ子』先日も、一週間ほど東京の講習会にゆき、神戸の駅に帰ってきて、摩耶山、再度山の緑の山を見て、ほんとにほつとされたとか、神戸の山の美しさと空気の綺麗さに疲れもとんでしまって、神戸に感謝しなければと思いつになられたということです。

竹田さんは数年前、兵庫支部美容コンクールで三等を獲得。その後も地味な美容院で仕事を愛し、張切つてお過しです。

岡部 「竹田さん、いつごろから、今のお仕事をなさり始めたんですか？」

竹田 「ちょうど、学校が六三制の切替えの時に中学を出まして、お父さんに奨められて入ったんです。最初いやだつたんですが、お父さんが『人の出来ない仕事をやっていると安心だから』と云われて……10年程前になります、16くらいのときですね。最初、一年間ほどは悲しかつた」

岡部 「そういう、学校があるんですか？」

竹田 「私は学校にはいきません、すぐお店に入つたんです。年期ではいって、西神戸のお店にお勤めしたんだ

す。その頃は、歳もいっていないから、年があくのを毎日待っていたんですよ。なにしろ雑用ばかりするお手伝いさんでしょ。それでも、はたちを過ぎたら仕事に懲り出でましたね。そして、三宮の真中の美容院に勤めたいと思いました……それが夢だったんです——思い通りに、三宮のお店で勤めることが出来て、しばらく居りましたけど、その頃が一番たのしかった。」

岡部 「どう云うことが楽しい訳、思うように自分の技術が進んで行くこと？それとも沢山の人と接したり、お店の雰囲気が楽しいの？」

竹田 「職場の雰囲気が楽しいこともあります、自分の手が伸びて行くことですね、お店の人が沢山いて、最初カットする人も、ロット巻する人も競争ね——」

最初は、お店に先輩もいらっしゃるし、お店の流儀もありますし、仕事のお手伝もなかなかさせてもらえないですよ。競争ですから積極的にロット巻をさせてもらえるように、カットしはる人の横に立つて待っているんですね。競争心が働きのなかにあるんですから、楽しく仕事が出来ましたね。お客さまも阪急沿線のセンスのいい方が多くてね」

岡部 「まあ、大体何年ぐらいで一応、何でも云われた

ように、自分の思った通り出来るようになるんですか」

竹田 「二、三年でも一応格好は出来ますよ、だけど矢張り、出来て、自信もあるようにできるまでには、五、六年はかかりますね」

岡部 「竹田さんは10年選手ですからベテランですね」

(笑)

竹田 「なかなか、そんなには……」

岡部 「随分、地味な職業であるようで、また、華手な職業なんですが」

竹田 「なかには華手な人もいて、パツとした人がいるのですから、時どき誤解される場合があるんです。」

岡部 「なんといっても、女の園でしょうし、男の方がいらっしゃることはないでしょうね」

竹田 「お年寄りの方が一、二度いらっしゃったこともありますが、お店の休日を選んで来ていただくようになります。だから、普段の日は男の方はいたしません」

岡部 「男の方でも、ペーマネントをあてたいと思つていらっしゃる方もあるでしょうから、神戸みたいなオシャレの好きな町には、男性専門の小さな店を作つてもいいかも知れませんね」(笑)

竹田 「そうですね、でもいまは、理髪店で、アイパーとかいろんな方法でやつていらっしゃる、電気ゴテかなにかでね」

岡部 「あなたが修業なつていらつしゃって、ご両親から離れられたときどう云うことを、一番情けなく思われたでしょうね」

竹田 「一番最初に困ったのは、今まで、ご近所の方でも、おばさん、おばさんという言葉を使つていてなんですけど、お店に入ると翌日から『奥様』というんですね……この言葉が早速出てこなくて、それに何だか手のひらを返したように思えて『おくさま、どうぞ』という言葉が全然出ないんです。この時は悲しかった。然しこれも、段々なれてしましましたが……。そのお店では、玄人のお客さまもいらっしゃって、きぎみゴテをあてる

んですが、コテをあてる前にすき桶ですいで、フケを落すんですよ、このとき、一度、すき桶を『キヤック』と頭にあてて、そのお客さまに、きつく怒られましたよ、もう顔は真赤になるし、飛んで裏に入つて——ほんとにこかわった」

岡部 「技術を身につけられるときにね、仲々コツののみこめない方もいらっしゃるでしょうね」

竹田 「私もどうしても出来ないと『出来る人の腕をチギッてほしい』と思いましたものの……技術を身につけるときは、一難去つてまた、一難、シャンプのこと一つでも、なかなか憶えられなくてね……」

仕事で大切なチーム・ワーク・オシャベリは禁物

岡部 「私は時どきにしか、美容院に行った憶えがないんですが、東京などで、かえつて暇が出来たりして、入つて見るんです。資生堂に入つて『予約がないとダメ』と云われて飛んで出たりして……」(笑)

やつて下さる方にいろんな人がありますね。初めてで頬馴染でないのがいけないのかも知れませんが、なかりは、初めての人という氣楽さで、もうお友達とばっかり話をしている人があるんです。人の耳のそばをつかまえて、不愉快ですね、熟練した手先で『くるくる』されんでしょうが、そんな人にやってもらうと『何か、心がこもっていない』という感じがするんですね——自分の仕事に対する真剣な気持という点で根本的に欠けるものがあると思うんです。

第一義の仕事がこんなようでは、人間関係の一大事とか、社会に対する考え方というものにもどう向つていらっしゃるのかというような不安、不信がおこつて来ますね」

竹田 「仕事の間で友達同志が無駄話をすることはいけませんね、『タブー』になつているんです。仕事に身が入りませんものね、友人間のチーム・ワークはなくて



(写真は左・岡部伊都子さん右・竹田峯子さん)

竹田 「お休みのときはお洗濯や、お買物に出たりで一日過ごすんですが、街に出ると人の髪の型を見て、勉強させてもらいます。近頃はお客様も、随分勉強されていますので、絶えず勉強しなければ……特にテレビでご覧になった髪の型が注文によく出ますね」

岡部 「やはり普段の勉強が大切な訳なのね、髪の型などの研究は難かしいでしょうね、流行もあるでしょうし外人のお客様もありますの……」

竹田 「日本のお客さまも『有難とう』とかいろいろ勞われるんですが、外人の女の方は、ジェスチャーたっぷりに貰めてくださるので、やっていて楽しいですね。それに髪の型も、案外、自分にあつたスタイルを変えられませんね、流行とかそんな型ではなくて、ほんとに自分にあつた髪の型を大切にされます。これは見習つてもいいと思いますね、パーティードなどがある場合はまた、別に考えられていますし、ハツキリしますよ」

岡部 「それは、自分の髪なんですから、どう変えられようといい訳ですが、個性的なものがある方がいいですね、あんまり次々と髪の型を変えるというのも落付かないでしね……。」

美容コンクールにどんどんおでになつたら

竹田 「ええ、そうしたいとは思いますけれどなかなかお稽古するのにお店に気を使いますから」

岡部 「これからも、たくさんの方が、美容のお仕事をしたいとあこがれていらっしゃるでしょうが、何か、言つてあげたいことはありません」

竹田 「さあ……。よほどお気持をもたれない」と、とてもつづかないのではないかと心配していました。私は小学校二年生のときに指を傷つけましてね。父が卒倒したくらいでした。でも、やはりこの仕事をやってきて、なにか自分の悲しみを克服したような気がします。ずいぶん苦しんだこともありますけれど。どの道をゆかれるにしても同じように努力が大切なでしょうね。」

岡部 「とても、そんな苦労をなさったようにはみえませんよ。かかるくて可愛い感じでいらっしゃる」(笑)

竹田 「あの時は、お客様も、一応早くしてほしい、早く出来ればいいと思っていらっしゃいますし、こんなときには、技術を憶える手が上るので、苦しいとは思いません、一番大切な勉強のときなんですか」

岡部 「お休みの日はどんなになさっているんですか」

神戸つ子座談会

ゲストに岡崎忠氏を迎えて

東京売りの 神戸買ひ!



神戸はいつまでも雌伏していてはいけないよ!と、岡崎忠氏

神戸には物凄い潜在力がある

牛尾　この座談会では、神戸の経済界を代表する人であり、また、公安委員会などで市民がいろいろお世話にもなり、文化人の一人としても「神戸つ子」には馴染の深い、岡崎頭取（神戸銀行）からいろいろご意見をお伺いしようということです。まず、「神戸論」というところから――

岡崎　私は、芝で生れて芝で育つ神戸つ子なんですよ。だから「神戸つ子」の資格はあるまいないんだな（笑）だがね、神戸の岡崎家に来たのが昭和4年なんだ。それには岡崎家、祖先伝来の墓地は春日野にあるんだ、だからゴルフは決つてゐるんだ――（笑）

岡崎忠氏

▼出席者

忠

牛尾吉朗
牛尾猛夫
永角南
田良一郎

永田良介商店社長
神戸青年会議所副理事長

ウシオ工業KK社長
神戸青年会議所理事長
神戸青年会議所副理事長
兵庫県公安委員会幹事

そういう意味でもね、私は卑怯なことは出来ない、縁あって神戸の子になつたんだからね。

最初、神戸に來た頃はね、東京がよくてね、神戸が嫌でしようがなかつた！ というのは、風土・人情が違うでしよう？ 言葉でもさ、何んだか女性的でしょ、今でも嫌な言葉が“えげつない” “しんどい” “嫌らしい”なんかね弱つたもんですよ。ところが、最近はもう東京え行くのが嫌になつたよ。あの交通地獄、スマッジ、この頃は勝手なようだけど、神戸礼讃だよ美しい山、海、食べものはうまいしね。ゴルフ場は空いてるしね

(笑)

この頃ではね、会社の支店長なんか東京から神戸にいらつしやるといいところにこられましたね」と云うんだ。『そうだ』といつてゐよ。神戸から東京に転勤される人には、『お氣の毒ですね』と云うんだ。そうするとね、『そうだ』なんだ(笑)。

角南 もう全く神戸っ子になられた訳ですね。

岡崎 それに、学生時代の東京と違って、あまりにひどいと思うな何か慾望が渦巻いているようだよ国会、政治家を中心にしてね。

角南 神戸っ子は環境に恵まれ過ぎていてですね、いさか物足りない。進取の気象に欠けているのではないかといわれるんですが。

岡崎 ガメツさはないね。

角南 先日の、神鋼浅田会長の話ですが、「神戸には松方あり、解散はしましたが鈴木商店ありで、神戸を中心にして、相当な意志表示をし得たものだがいまはそれがない」といわれたんですが、確かに

そこに何か地盤の沈下というか、環境の良さから来る、マンネリズムがあるのではないかと思うんで

岡崎 それは、一面あなたの仰言とおりですが、神戸には潜在勢力(ボテンシャル・パワー)が強大だと思う。現在、東京でシャカジャカ云うのが偉いとは思わない大阪をはじめ神戸、京都とも、戦後あまりにも立直りに急を要した

その為に国家資金を使い、利用しなければならなかつたから、中心を東京にもつて行かれちゃつたんで、地勢・立地条件あらゆる意味で、神戸の潜在勢力は物凄いものだと思う。東京も大阪も物理的に行きつまつてしまふよ、神戸は現在雖伏しているんだ。だが、いつまでも雖伏してはいけないと

思う。皆さん方が立派になられて、この野郎」と立直つて欲しいんですね——今のうちに準備しておいてね。私たちが東京で、帝国ホテルに泊るでしょう。そこから大手銀行に行くのに30分もかかるんだ。『ありやア乳母車のスピードだ』と云うんだ。乗物が乳母車と自動車と違うだけ、赤ちゃんの替りに、白髪頭か禿頭か乗つているだけ、スピードは一緒(爆笑)

神戸だと須磨からこの本社まで20分ですよ——もっと早く行けますよ。それで風光明媚な須磨に帰れるんです。いい訳ですよ。

北九州も雖伏していますが、今後、中国、東南アジアが開けて行くことも買ひですヨ——この間も座談会で私は、『神戸の株は買ひます』といつたんだ。東京売りの神戸買いですよ、

東京には國家権力の中心があるだ

けですよ。これも民主主義が徹底すれば——大阪に貿易庁が、神戸に運輸省があるという時代が来るでしょう。神戸は必ず盛り返しますよ。造船・海運・鉄鋼にしても

アジャをまかなうようになると思つてもらいたい。あなた方が甘かつたら、これは駄目ですよ

近海外をお廻りになつて、特に印象に残つたことと云えどんなどでしようか？ 世界こぼれ話といふところですね——

岡崎 去年の8月、9月とアメリカの西の方に行つて、一昨年はアメリカから欧洲に行つていますが最近、海外にて驚るくのは、『うんと日本人が行つてゐるナ』ということですよ。カメラを2ツ程ぶら下げて、『キュッキュッ』靴を鳴らして歩いているのは日本人だな

『世界は狭くなつた』そう感じますね。昔、東京に行つた時間があれば、アメリカに行けるし、少し延ばせば地球の裏側に行つちゃうんですよ！ 今から18時間もジェット機にのれば海水浴が出来ますよ

それと、目立つて日本の商品が進出していることです。電機製品、カメラを始め豊富に廻つていますよ。しかし、色、スタイルなどの点で、いま少しの研究があればもう最高でしょう——黙つていても売れるようになると

思うんですがネ。

角南 これは、日本銀行の広瀬さんのいわれたことですが、『日本の景気調整を金融手段をとおして

整できた』ということについて、海外では日本の経済力を非常に高く評価しているということなんですが――

岡崎 私は今まで、51・53・56・58・61・62年と海外に行っていますが、ずっと前58年頃からすでに、日本とドイツは恐るべき国だと云つていましたよ。

しかし、我々が考えている以上に一過度の評価をしているように思うナ。しかし、戦後、ゼロから立直った日本に脅威はもつてゐる池田首相が外遊したときの待遇をこちらになればお判りだと思いますが、確かにそれは見られましょ。だが、自惚てはいけないというのはドイツの前進は勿論、イタリーが非常に繁栄しています。戦前のイタリーとは見違えるようになっていますよ。

牛尾 EEC諸国を日本が恐れている以上に、EEC諸国は日本の進出を恐れているという話をききますが、その点はどうですか――
岡崎 そのとおりですよ。EEC諸国にしてもアメリカにしても、最終的な狙いは、7億の民をもつ中国であり、朝鮮、インド東南アジアなど未開発国家なんでしょう。そうすると日本は距離的にも近いし、毛色も似ているし、日本の経済が伸びていることも事実だし日本が有利な立場なんですから――

当然、マークされるでしょう。戸の経済界の場合でも、海運、鉄鋼、造船など、斜陽だというが冗談いつもらつては困る。石炭なんかと同列に考えてもらいたくない。日本の基礎産業なんですから――

原料高で製品安か、人件費ら――



角南猛夫氏



牛尾吉朗氏



永田良一郎氏

が高いのか、売れないのか――経理面を圧迫している理由はいろいろあるが、その原因を解決して行けばいいんですよ。

海運の場合でも、どう金融の合理化すればいいのか検討すればいいんです。日本の海運をやめてしまった訳には絶対いかないんですよ。神戸には基礎産業の経理面をどうすれば解決できるかということを真剣に考え方組めばいいんですよ。

昨日も、寺畠総務部長が県の開発公社の理事になられていらっしゃったとき、「兵庫県は播州にも充分ゆとりがあるんだから、大阪、阪神間と違って未来がある。神戸も立遅れているようだが、伸びる楽しみがあるんだから、お互いにつかりしよう」という事を申上げたんです。県でも市でも、なんといつても、財政が豊かでないと駄目ですね。経済力が出来れば、自然、財政も行政も豊かになるんですよ。富むと云うことは大切なことですよ。県が市が富むということです。私は国家でもそうだとと思う、富國ということですね！ アメリカがなぜ立派にやって行けるか、西ドイツがなぜ立派になってきたか、というのは富んでいるからですよ。

「世界の神戸」になるために 「公徳心」をもつと育だてよう

牛尾 話は変わりますが、頭取が世界の各都市をおまわりになつて、神戸市と比較されてどうお感じですか、町づくりということで……
岡崎 世界の一等国家の都市、ロンドン・パリ・ボンなどと比較し

て遅れています。一番残念なのは公徳心に欠けていることだ。道路・下水道のようないくつかの物質的なことがよりも、公徳心という面の方が遅れている。アメリカの都市なんか非常に衛生的で、公徳を実によく守っていますよ。日本の都市はこの点、悲しいけど駄目だなア——乗物では婦人子供をいたわらない。順序よく並んでいる列を若い人が平気で横から割りこんで先に乗っちゃう。席は学生達が占領している——もう恥かしいなア——それに唾をはく、立小便は平気だらう(笑)日本人は非常に勤勉だし教育も普及しているし、いいところが一ぱいある国民なんでしょう。その中の一部の人、アウト・ロードが乱すんだな。いづれにしても学校で教えない公徳をたね(笑)徹底的にP・Rが不幸なんだ。結局ね、銘銘が不幸なんだ。知らないままに年をとつていくのではね。

永田 学校教育だけでなく、家庭での躾という問題でしようネ。岡崎。結果、P・Rをうんとするみんな。それに地味だけど市民の責任個人人が公徳心を育てるようになれば、神戸は100万市民の非常にモチベートな都市なんですか、まことにナニヤア」というのはこちらで蔑んでやればいい、可哀そうな奴だなアとね!またねこんなことが守れないんならね「獸面獸心」だな。動物園だよ(笑)文化都市何をか云わんやだ——弱い考えですネ。あらゆる機会に立小便はいけないと話して

て遅れています。一番残念なのは公徳心に欠けていることだ。道路・下水道のようないくつかの物質的なことがよりも、公徳心という面の方が遅れている。アメリカの都市なんか非常に衛生的で、公徳を実によく守っていますよ。日本の都市はこの点、悲しいけど駄目だなア——乗物では婦人子供をいたわらない。順序よく並んでいる列を若い人が平気で横から割りこんで先に乗っちゃう。席は学生達が占領している——もう恥かしいなア——それに唾をはく、立小便は平気だらう(笑)日本人は非常に勤勉だし教育も普及しているし、いいところが一ぱいある国民なんでしょう。その中の一部の人、アウト・ロードが乱すんだな。いづれにしても学校で教えない公徳をたね(笑)徹底的にP・Rが不幸なんだ。結局ね、銘銘が不幸なんだ。知らないままに年をとつていくのではね。

て、P・Rをしていただきたいものですね。神戸市長なんですからお互いにね、ここでね、私は現在の青少年を責めるのはやめてほしいと思います。青少年の今日あらしめたのは大人の責任なんですかね、他を批判する前に自己を批判すべきだと思うんだ。だから近頃の青少年は悪いと云うことは出来ない。

神戸を明るくする

推進団体をつくろう!

角南 神戸で欲しいものは、ドライブしても快適な道路、夜走つても、サイドランプだけで走れる道路というものがあつていいんじゃないかな。まさに地味だけど市民の責任個人人が公徳心を育てるようになれば、神戸は100万市民の非常にモチベートな都市なんですか、まことにナニヤア」というのはこちらで蔑んでやればいい、可哀そうな奴だなアとね!またねこんなことが守れないんならね「獸面獸心」だな。動物園だよ(笑)文化都市何をか云わんやだ——弱い考えですネ。あらゆる機会に立小便はいけないと話して

ない訳ですよ。電力はあるが電力料金が馬鹿にならないんです。これでお互いにね、ここでね、私は現在の青少年を責めるのはやめてほしいと思います。青少年の今日あらしめたのは大人の責任なんですかね、他を批判する前に自己を批判すべきだと思うんだ。だから近頃の青少年は悪いと云うことは出来ない。

岡崎 結局、財源というものを考へればいいんじゃないの?永田 一番肝心なことなんですが、もうと云うのだから、管理は市で受持つていいと思うんですが——岡崎 市の行政ということではなく、かしないかということではなくて、市民に幸福をもたらすことが狙いなんですかね、メインストリートを明るくするということに市民の関心が深ければ、別途に財源を求めて方法を講じたいものですね。一ましてバンコックなどタイの都市で行われていることだとすれば反省させられるね。これは放談だけれども一つの結論に達しましたね。我々、公安委員としても、東からきた自動車をスムーズに西に送り出す。このことはなんとしても頑張りたいですね。東神戸にはいつて脇浜あたりから須磨までは、ノーヘッド・ライトとしているよ、これを理想にしてやりたいな。一つこれを機会に団体を作つて推進しましようか。経済団体も市、県も公安委員会もこれに入つて、実現を目指してやるうじやありませんか。町が明るくなれば、事故も少なくなる、防犯にもなる、美観にもいい、「神戸っ子」の皆さんと力を合せてやりましょうか。

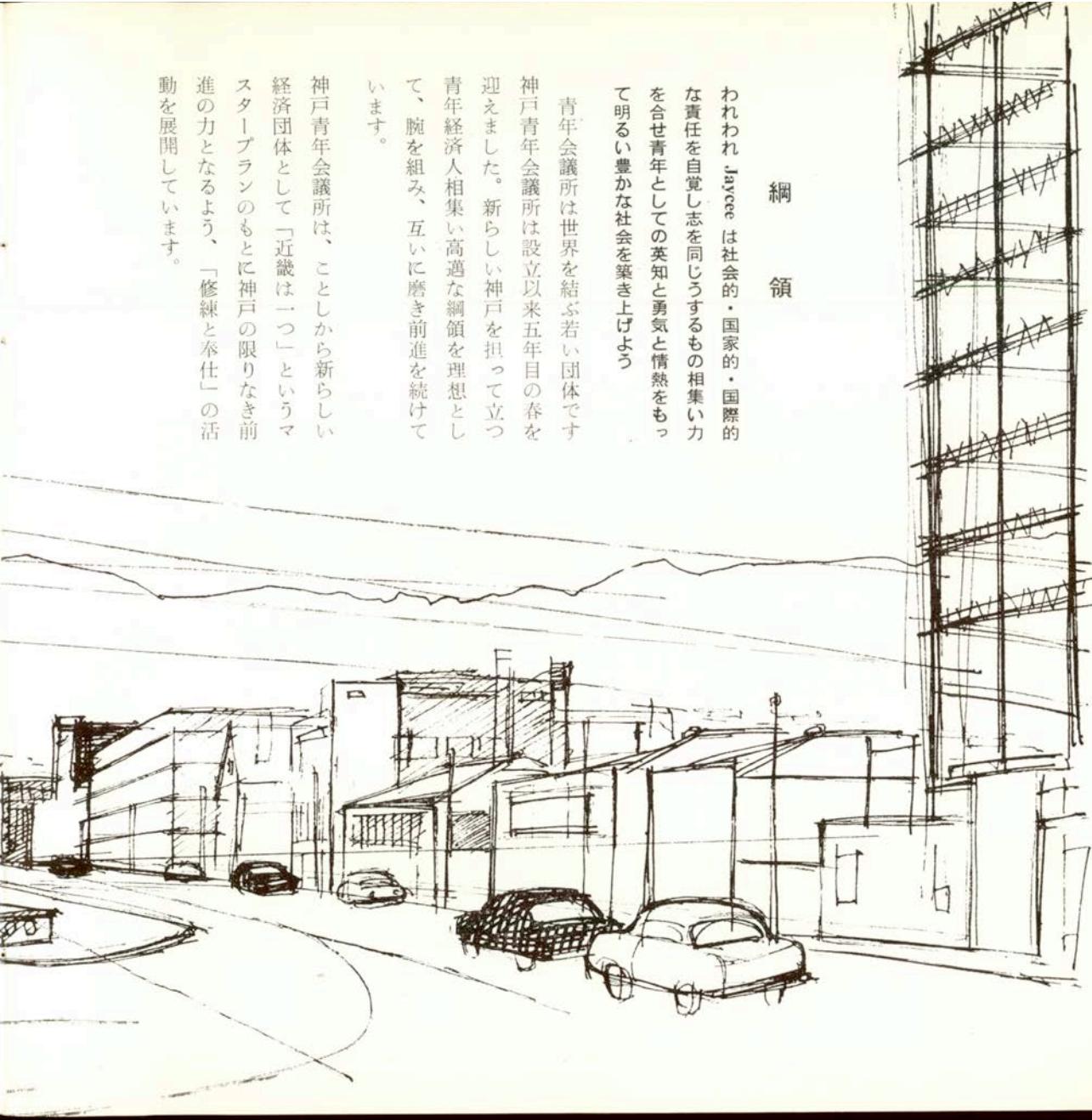
牛尾 新聞会館までの設備資金は集つてあるんですけど、あのキービングが問題なんです。これを市がもたせたいですね・

綱 領

われわれ Jaycee は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうするもの相集い力を合せ青年としての英知と勇気と情熱をもつて明るい豊かな社会を築き上げよう

青年会議所は世界を結ぶ若い団体です
神戸青年会議所は設立以来五年目の春を迎えました。新らしい神戸を担つて立つ
青年経済人相集い高邁な綱領を理想として、腕を組み、互いに磨き前進を続けて
います。

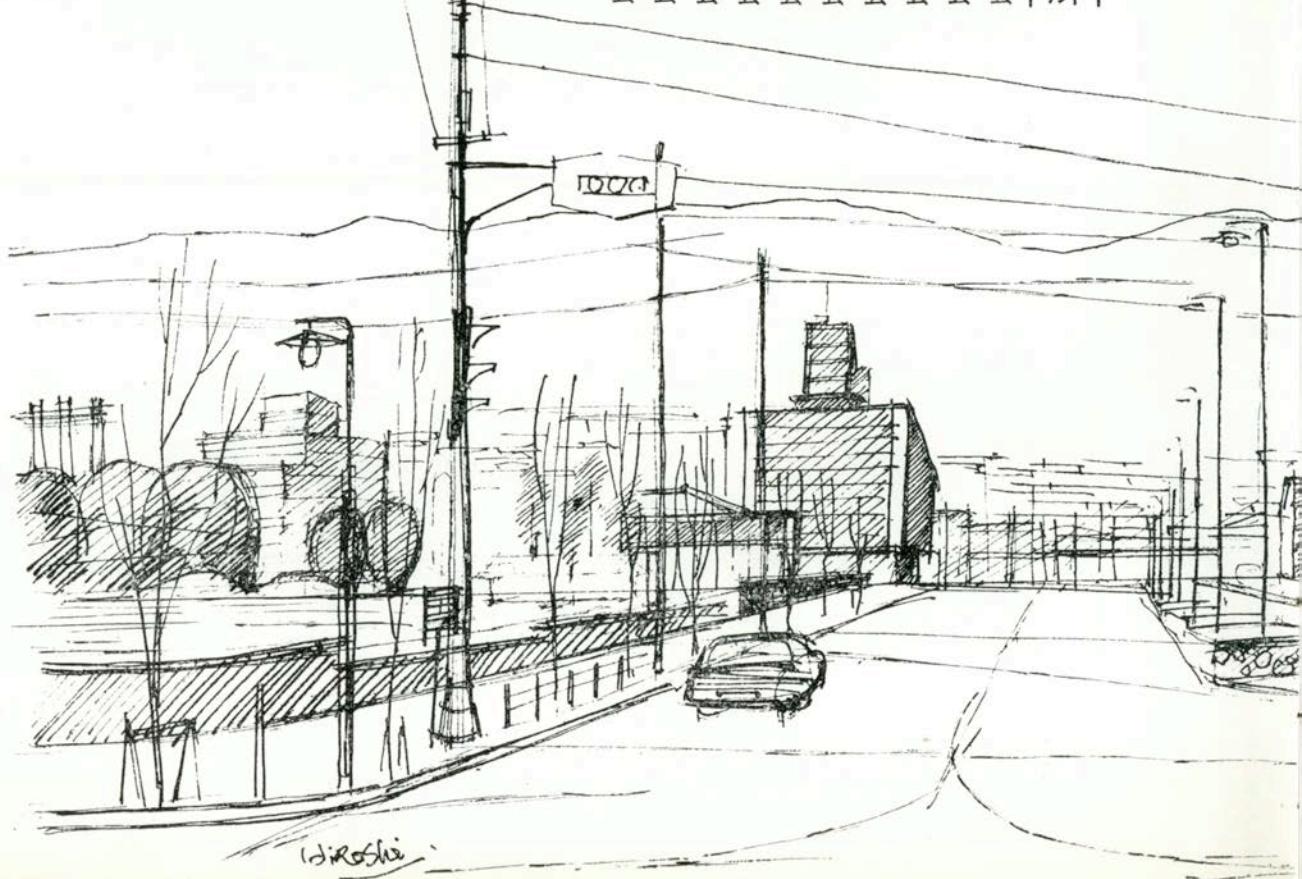
神戸青年会議所は、ことしから新らしい
経済団体として「近畿は一つ」というマ
スターープランのもとに神戸の限りなき前
進の力となるよう、「修練と奉仕」の活
動を展開しています。



神戸青年会議所



総務委員会
会員委員会
広報委員会
経済活動委員会
修練委員会
社会活動委員会
親睦委員会
涉外委員会
国際関係委員会
定款委員会



あなたの好きな女優さんは、と聞かれるたびに、え、ーと、何んて名前だつたかなと、そのくるくとよく廻るるあいくるしい小さな目を、一ぱいに見ひらいた、まるく可愛らしい顔を思い出すのですが、どう言う訳か生れつきひとの名前の覚えられない癖のある私は、その女優さんの名前が、まがりなりにも口に出て来るまでには時間もかかるし随分と苦労します。その苦労でも言いたい女優さんの名前は園佳也子さんと言います。

こうして園佳也子さんを書く以上は何か予備知識をと思って日刊

スポーツの前田三光君に早速連絡しましたが本人不在のためこちらだけが勝手にお目にかかるつての園佳也子管上の映像としての園佳也子さんのことしか書けない始末になりました。

園佳也子さんの名まえと云うより私の場合、その演技からくる人間性が印象に残ったのは大分まえのことになりますが友人の山田赤鷹君が書いたテレビ番組の伴淳のトランクの運転手ものに園佳也子さんが出ていた時だと記憶しています。

私は、園佳也子さんをお芝居を管の上でこちらが勝手にお目にかかるつての名前で、それ以外の園佳也子さんについては何一つ知りません。

(写真／園佳也子さん)



私の好きなスター

関西の味・園佳也子さん

貝原六一

（作家・行動美術会員）

と思いました。それから私の見て来た園佳也子さんは役柄にもよりますが、黄色い声や軽妙なアドリブやそして生れつきよい、お芝居の勘を武器としてどんどん芸域を拡げて來たようになります。山田赤鷹君が書いたテレビ番組の伴淳のトランクの運転手ものに園佳也子さんが出ていた時だと記憶しています。

私は、園佳也子さんのお芝居を見て見たのもその時が初めてだったと思います。家出娘がなんかのちょっと出の女中役のようでした。がその勘のよいお芝居に舌を巻きましたが同時にこんなに関西の味の強烈に匂う女優さんも少くない



お慶びの日に

デコレーションケーキ

御引菓子

御土産

和菓子・洋菓子

創業 明治三十年



鳳月堂

神戸 元町三 3 695・696

O-SHIBATA 柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 4-0693

大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



華麗なる

ウエディング・ドレス

福富芳美



代的にだんだん短かくされつつあるようです。といつてあまり短かいものだと普通のドレスとかわらずへ庄嚴さに欠けますから、やはり丈は長い方がいいでしょう。

ヘッド・ドレスのはなし

ヘッド・ドレス——これは日本の「角かくし」にかわるものでウエディング・ドレスの場合は、帽子のかわりに「チュール」をつけています。チュールの丈もスツをひくように長かったのですが、いまは短かく軽い感じのものが多くなってきています。

昔は、このヘッド・ドレスにとても凝ったものですがいまではカントリーリー式やアクリセサリー的なものにと形がかわってきてています。いずれにしてもチュールはウエディング・ドレスではなくてはならないもの。日本でも帽子屋さんでいいものがでけるようになりましたから、ドレスにあつたチュールを作られることです。ただしあまり変わったものや、そればかりが豪華であつてはおかしな感じを与えますから注意しましょう。

色直しのカクテル・ドレス

「色直し」は、日本独特の風習のように思えますが、色直しのカクテル・ドレスは、あまり濃い色でつくらす清楚なブルーやピンクなどのうすい色のもので品のいいデザインを選んでください。もちろん、ふりそでや訪問着をお召しになって色直しをなさるのもいいでしょう。

一般にカラソリックの多いヨーロッパではシンプルなもの、アメリカでは逆にひろがった感じのウエディング・ドレスが多いようですが、日本の場合、和服の華やかなものの方がいいでしょう。

ともかく、ウエディング・ドレスは、作られるときも、借りられるときにも、その人の身分と式に応じたデザインを選ぶことがいちばん大切な心得」と申せましょう。

(神戸ドレス・メーカー女学院長、

生地には華麗さを……

色はもちろん白。そして生地にも華やかさと共に華麗を感じたとえば模様に刺しゅうをしたり、うちかけといった日本の花嫁衣裳と同じような感じをだしたいものです。サテンに刺しゅうをしたもの、凝ったレース(フレードをはわせたものなど)、このほか刺しゅうやレース加工をした白生地などを選びましょう。

ドレスの丈は、トレーンをひくような長いものが、現



紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

紳士服飾//大丸前 3-3900
婦人服飾//大丸前 3-1695
婦人服飾//三宮センター街 (3) 6114
婦人服飾//姫路やまとやしき(23) 1221

SUGIYA ハンカチと下着の店
トア・ロード TEL ③3436



花のネグリジェ

¥2,900